

来年3月 空前の大結集で二期着工粉碎を!

臨調・行革粉碎ノ 三里塚ジェット闘争勝利ノ

「用水」同盟破壊攻撃粉碎、反動中曽根体制打倒で

11・28三里塚現地集会所開かれる

11・28三里塚現地集会所(東京実行委主催)は、「成田用水」による反対同盟破壊Ⅱ第二同盟づくりの攻撃のもとに「83年二期着工」を画策する政府・公団への反撃として大成功をかちとった。またこの日の闘いは、超反動中曽根政権に対する、全国で始めての怒りの決起としてうちぬかれた。集会には一三五〇名が結集、動労千葉青年部からも四五名が代表参加し共に闘いぬいた。

いざ83年3月へ! 82年の闘いの勝利を高らかに確認

石田郁夫さんと丸山照雄さんの司会で始まった集会所は、東京実行委代表世話人浅田さんの基調報告をうけて、動労千葉関川委員長、北富士忍草母の会渡辺喜美恵さん、反戦被爆者の会小西のぶ子さん、沖縄民権の会古波津英興さん、労働運動研究家高島喜久男さん、意岐部東小辻岡さん、部落解放同盟荒本支部松浦さん、江戸川支部中山さん、全金本山長谷さん、反戦自衛官小西誠さんなど、各界で闘いの先頭に立っている人々からあいさつ・決意の表明が次々とおこなわれた。

つぎつぎと決意表明に立つ反対同盟農民
集会のハイライトである反対同盟からのあいさつ・決意表明では、二〇名におよぶ反対同盟農民が登壇し、この一年間、権力・革マル

三里塚農民の決意

●成田用水は実力をもって粉碎する。このなかにこそ二期阻止Ⅱ空港廃港の勝利の道がある。全国人民闘争の先頭にたつ三里塚は断じてひくわけにはいかない! (反対同盟事務局長・北原鉦治さん)
●私たちは何故17年間闘ってこられたのか。それは欲得・代償を求めて闘ってきたのではなかったからだ。極反動中曽根内閣は、軍大化・改憲の攻撃をエスカレートし

●「すでに82年は一ヶ月しかない。公団はどこに農地の買収ができたというのか!」どこに「83年着工」できる現実があるというのか! 今こそ権力の側がほんとうに正念場においつめられているのだ。にもかかわらず、用水に屈服し協力している者を、私は絶対に許さない。勝利が目前にあることを見さだめよう! (東峰・島村良助さん)
●「闘う者は確信をもって信念を貫く。初志貫徹。革マルは絶対に許せない。このような輩とは徹底的に闘わなければならない。われわれは正しいことをやっている。まちはがっているのは政府だ!」(長原・宮本嘉さん)
●「われわれに課せられた課題ー三里塚闘争とは何なのかをもう一度確認しなければならない。日本帝国主義を打倒する闘いだ。用水推進派や、三里塚は単なる百姓の問題とする主張に対し、怒りをもって闘わなければならない。私はたとえひとりになっても最後まで闘いぬく。正しい生き方を貫く!」(中郷・鈴木幸司さん)

来年三月、かつてない人の波で 三里塚を埋め尽し、勝利しよう 浅田世話人が 基調報告

一年間の闘いのなかで、三里塚は堂々と反戦反核人民闘争の中心たるべき位置に立つ事に成功しました。ファシズムと世界戦争がぼっ発する前夜の情勢のなかで、戦闘的な闘いの中核を担う勢力が絶対に必要です。それが三里塚に課せられた任務です。
中曽根政権は、警察官僚を頭においた明らかな弾圧内閣です。反動の嵐の中で数十万の人民の起ち上がりは、やがて数倍数十倍になることはまちがいありません。だからこそ、今こそ三里塚闘争を徹底的に強化することをお願いしたい。反対同盟破壊Ⅱ成田用水攻撃を粉碎しよう。とりわけ成田用水と闘う辺田反対同盟を守るために「自主基盤整備」と「野菜の販売」を全力で支援したい。また、革マルが謀略宣伝の限りを尽して三里塚に襲いかかっています。権力の意図そのままに尖兵となっています。彼らはついに労働運動の中でも公然とスト破りを路線化し実行し始めました。この革マルと断固闘わなければなりません。
82年の闘いの勝利を更に拡大し、現地の攻撃をうちくだき、来年三月には、かつてない人の波で三里塚を埋め尽し、勝利しましょう。

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ!